

平成30年12月新見市議会定例会 11月30日（金）

日程第4 （市長の行政報告について）

市長行政報告

本日、12月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆さま方にはご多用のところをご出席賜りまして、誠にありがとうございます。前回の市議会定例会以降についての報告をさせていただきます。

まずはじめに、本市は7月豪雨並びに台風第24号により甚大な被害を受け、多くの皆さまにご尽力いただきながら復旧・復興に向けて全力で取り組んでおります。特に、農地・農業用施設災害及び公共土木施設災害の復旧につきましては、現在、国の査定を順次受検しており、早期復旧に向けて強力に推進してまいります。

国や県に対する支援要請につきましても、岡山県市長会や被災した他の自治体と協力し、あらゆる機会を通して積極的に行っているところであります。今回の河川の氾濫の一因となったと考えられるダムの放流につきましては、10月4日に高梁川ダム統管理事務所、10月15日には高梁川用土地改良区から7月豪雨及び台風第24号での放流状況の説明を受け、事前放流について強く要望いたしました。

今後、高梁川上流域におけるダムの管理方法の抜本的な見直し、事前放流の実施、連携した管理体制の構築をはじめ、高梁川の本流・支流などの河川の早急な浚渫、治山事業の実施等につきましても、引き続き他の自治体等と連携し、関係機関へ強く要請してまいりたいと考えております。

世界的に異常気象が発生している中で、今後いつどのような災害に見舞われるか予測しにくい状況ではありますが、この度経験した災害の検証結果を踏まえ、地域防災計画の見直しを進めており、引き続き市民の皆さまとともに、防災・減災に取り組んでまいりたいと考えております。

道路関係の要請活動につきましては、災害のため先送りとなっておりましたが、期成会の会長として備北新線、主要地方道新見日南線、新見勝山線の改良・整備について、9月25日に中国地方整備局、10月10日には国土交通省や関係国会議員に対して、要望してまいりました。11月12日から15日に掛けては、災害復旧促進や治水事業促進の全国大会に出席したほか、全国過疎自立促進連盟の会議にも理事として出席し、情報収集や要望活動を行ってまいりました。

今後も、被災地の復旧、復興とあわせて、必要な各種要請も行いながら、国や県との連携のもと「安全・安心なまちづくり」に取り組んでまいります。

続きまして、第2次総合振興計画に掲げております基本目標ごとに、その主要な取組についてご報告させていただきます。

まず、「あたたかい福祉のまち」についてであります。平成32年度から平成36年度まで5年間の「第2期新見市子ども・子育て支援事業計画」を策定するために、市民の子育てに関する生活実態や子育て支援に関する要望等について、ニーズ調査を行う準備を進めてまいりました。新見市子ども・子育て会議において内容を精査、12月にニーズ調査を実施、今年度中に集計、分析を行うこととしております。

次に、「はばたく産業のまち」についてであります。本市の重要な産業であります畜産の振興につきましては、10月14日に真庭市で開催された、第73回岡山県畜産共進会において、和牛の部で本市が3年連続となる団体優勝を飾り、さらに、最優秀賞であるグランドチャンピオンに市内で飼育されている千屋牛が選ばれるなど、各部門において輝かしい成績を収めております。

観光振興につきましては、9月5日、マツダスタジアムで開催されたプロ野球公式戦に市内事業者とともに「わがまち魅力発信隊」として出展し、本市の特産品を販売するとともに観光情報を球場内で広くPRいたしました。

また、9月20日から4日間、東京ビッグサイトで開催された国内最大級の観光展示会「ツーリズムEXPOジャパン」に出展し、観光事業者や一般来場者に本市の魅力を積極的に発信してまいりました。

今年度のA級グルメフェアにつきましては、販路の拡大と交流人口の増加を目指し、市外、県外にも積極的にPRを行うため、9月22日、23日の2日間、東京都港区の「とっとり・おかやま新橋館」で、10月8日には岡山城のふれあい広場で開催し、大勢の方にお越しいただきました。

岡山会場は台風の影響で3日間の予定が1日に短縮され、11月に予定しておりました市内での開催も、会場の井倉洞周辺が7月豪雨や台風の被害により使用できなくなったことから断念いたしました。引き続き、本市が誇るA級食材のPR等に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

中小企業の振興につきましては、7月に制定した「中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、11月5日、第1回の産業振興会議を開催いたしました。今後は、この会議の中でさまざまなご意見、ご提言等をいただき、産業振興施策に反映させてまいりたいと考えております。

以前から協議を重ねておりました、農業共済団体の1県1組合化につきましては、10月2日、「岡山県内農業共済組合等組織再編整備予備契約書」の調印を行いました。今後は、1組合化の母体組織となる「岡山県農業共済組合」の平成31年4月の設立に向けた準備を進めてまいります。

次に、「ゆたかな文化のまち」についてであります。かねてから誘致活動を行っておりました「2020東京オリンピック ソフトボール日本女子代表チームのキャンプ」につきましては、日本ソフトボール協会等のご協力により、11月24日、新見市憩いとふれあいの公園で実現いたしました。強化練習は公開で行われ、トップ選手を一目見ようと市内外から多くの方が来場され、競技関係者を含め「ソフトボールのまち新見市」を広くPRできたものと考えております。また、スポーツ少年団とのふれあいイベントや歓迎会では選手との交流も図られ、オリンピックに対する市民の関心や期待も一層高まったものと考えております。

学校教育関係では、10月17日から5日間、東京ビッグサイトで開催された「ワールドロボットサミット2018」に出場した新見第一中学校チームが第2位という成績を残されました。世界中から集まった人たちがロボットの技術やアイデアを全て英語を使って競う大会での上位入賞は、生徒と教員の日頃のたゆまぬ努力によるものであることは申し上げるまでもないところでありますが、先進的に取り組んできた英語教育とICT活用教育の環境が、このような成果を導く基礎になっているものと感じております。今後も、本市の特色を活かした教育環境の中で、更なる人材育成に努めてまいりたいと考えております。

次に、「かいてきな環境のまち」についてであります。7月豪雨により、全壊や半壊となった家屋の解体及び撤去に要する費用や、宅地内に流入した災害廃棄物の撤去費用について補償する「災害等廃棄物処理費償還事業」の準備を進めており、被災者の生活基盤の回復や費用負担の軽減を図ることで、生活再建の支援を行ってまいります。

また、草間台簡易水道、井倉簡易水道では、台風第24号においても施設が被害を受けたため、再度断水を余儀なくされ、多くの皆さまに大変なご不便やご苦勞をおかけいたしました。現在、浸水対策を進めており、早期の完了を目指しております。

防災対策では、9月20日に本年度第2回目の「新見市自主防災組織連絡協議会」を開催し、7月豪雨災害に関するアンケート結果をもとに今後の対応などについて意見交換を行っております。今後も引き続き、各地区防災会の連携を密にするとともに、市内全地区で自主防災組織が設立されるよう働きかけてまいります。

次に「協働によるまちづくり」についてであります。新見市版地域共生社会の実現に向けた取組の考え方や今後の取組内容を取りまとめた「新見市版地域共生社会構築計画」につきまして、まちづくり審議会での審議を経て、10月1日に策定したところであります。

本計画を市民の皆さまに広くお知らせするため、10月16日から市内13会場において説明会を、11月22日には市役所南庁舎でタウンミーティングを行ったところであり、今後、取組を本格化させてまいりたいと考えております。

また、本年度創設しております「協働のまちづくり交付金」につきましては、9月から「熊野の将来を考える会」が、この交付金を活用した初めての取組として、高齢者を対象に病院や買い物の送迎支援、日常生活の困りごとの生活支援を行う「熊野・井倉野助け合い事業」を開始されております。

地域住民が主体となり、地域自らが将来展望を描きながら活動する「小規模多機能自治」を推進している中で、このような地域課題解決に向けた好事例が全市的に広がり、「支え合いの機運」が高まるよう取り組んでまいりたいと考えております。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしました。引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。